

## 京北トレイル現況

1年ぶりの京北トレイル、2024年9月20日～22日に歩いた結果です。

京都トレイルコース案内や、ガイド活動などで参考にしてください。 9月23日 山本時夫

始点の元細野小学校の次、標柱2番プレート(写真)が激しく損傷して判別できない。



滝又の石仏ルートは、整備されていて歩きやすい。伸びきった草が目立つが1か月後には枯れるだろう。

咳ブル分岐から滝又の滝へのコースは、全ての橋が架け替えされていて、大変良好。滝周囲も歩きやすくなっている。

滝又の滝から余野集落への林道は従来どおりの状態。伏見坂への登りの林道は地が固まってきており、ぬかるみが無くなって歩きやすくなっている。峠まで伸びてきた林道周囲も分かりやすい。大森西町への下り道は従来どおり。

猛暑が続く雨もすくなくかったせいか、不思議なことに茶呑峠にいるべき「ヒル」が見当たらなかった。

茶呑峠から直接天童山へ登る坂の上部では、以前よりも踏み跡が少なくなっている模様。

天童山から二石仏の間は、5年前台風の倒木も残存したままであるが、支障はない。D3 から天童山の間杉林のコースは従来よりも整備されていて歩きやすい。

パラグライダーは休業しているが、木造の施設と長いブランコの所有者と話ができた。数年前から活動している「バギー」で観光誘致している元気な人と

同じと思われます。

おーらい黒田屋の店内は、スッキリとした商品陳列となっていました。

宮坂峠では伸びた草が目立つので、降りる小径が見えにくい。

発電所前から掛尾峠に向かうと、K12標識(写真)を中心にして草が繁茂している。ベニバナポロ菊などのキク科が密集、かつ綿毛が一斉に飛んでくると苦痛となる時期、トレイルコースが分かりにくい。標識12番から11番の間には、毎年このことで背丈を越えるススキ(株)がトレイルコースを遮るように繁茂している。

一般登山者向けには、[「標識11番から12番周辺にあっては、背の高い夏草が繁茂してコースや標柱が遮られてしまうことがあります。草をかき分け足元の地面を見てコースを進んでください。」](#)



掛尾峠を横断していた大きな倒木はかなり崩れてきており、通行しやすくなった。



掛尾峠から西へ200m下ったところの崩壊斜面は、溝状の細い足場が不安定で一般者にとっては通行不能状態であったが、2年前に山本がルートを改修した。付近の倒木十数本を斜面に運んで積み重ねて作った足場とトラロープ展張はそのままに破損はなく、良好な状態です。あと5年ほどは持ちこたえられるでしょう。



熊鈴を鳴らしていたものの、掛尾峠を越える途中で伸びたベニバナポロ菊に対処して鈴が鳴らないでいる時間に、野生動物の気配あり。峠からの下りにおいて、径の上に糞があり。京北地域には熊が普通に生活していることを実感。

熊が住んでいるエリアに人間は進入していること。入るときには、熊鈴やラジオ、賑やかな会話によって、熊に分かるようにして入ってください。「熊が出ます」ではなく、熊は昔から普通に住んでおります。「熊は山に逃げました」ではなく、逃げたわけではなく、エリア内を移動しているだけ。熊は何も悪い事をした訳でもなく、逃げる必要もなし。

掛尾峠崩落斜面改修箇所から標識9番の間は、良好です。



K5 からK4への河川敷歩きの部分では、堤防周囲河川敷に背の高いスキなどが繁っており、トレイルコースである小径が判別できません。コースは小川を越え上の堤防へと登る箇所がありますが、それがどこなのかは判別不能です。一般登山者向けには、「夏季において草が生い繁っていてコースが判別できない場合は、上桂川の流れの近くを川に沿って歩き、見えてくる橋の手前付近から草の生えていない河原に戻るように入ってください。」

「標識36番から井戸峠に向かう間、下草が多くて小径が隠れている箇所がありますが、先の方を見て進んでください。」  
「井戸峠標識37直下の登りでは、なだらかになったコースが谷の中央で径が消えます。谷に沿って峠への直登も可能ですが、約10m戻った所からジグザグで南に上がる小径を探してください。この道はやがて西に向きを変えて、標識37番へと進んでいきます。



井戸峠標識38番からのコースは、北への国道477号線と南への水平な林道との間にある斜面へと下っていきますが、草が生い茂っていてトレイル道が見当たりません。30メートルほど下ってしまえば杉に林間に入って小径がハッキリとします。

一般登山者向けには、「井戸峠標識38番周囲から南西斜面を下るコース周辺が繁った野草で隠れていることがあります、その場合には、約30メートル先の杉林の間に伸びていくコースへと草を分けて進んでください。」

標識50番と51番の間は堤防道がコースですが、生い茂った野草でコースは判別できません。マムシも怖い。



そこで、「標識50番と51番の間は夏季において野草が生い繁ることがあります。無理しないで車道を歩いてください。」

合併記念の森を歩いている時、急な25mmを越える大雨と雷に会いました。そのとき、標識6番の管理棟を利用、30分間避難しました。開放された広い空間ですので、ツアーなどの大人数でも快適に休憩できます。

黒尾山、周山城跡のコースは歩きやすい状態が保たれています。良好です。

写真はウッデイ京北のトレイル案内板にある案内図です。

標識79番「高瀬橋」の通行止め 令和6年10月中旬から令和7年6月中旬まで 標識76番～92番 迂回ルートあり  
10月以降の京北トレイルガイドでも迂回ルートとなるでしょう。

迂回路は、標識75番から車道を歩いて標識92番へ、さらに元細野小学校標識1番へと進みます。



以上です。9月23日 山本時夫